

ピアノをお持ちの皆さんへ

騒音に気をつけましょう



大田区 環境対策課

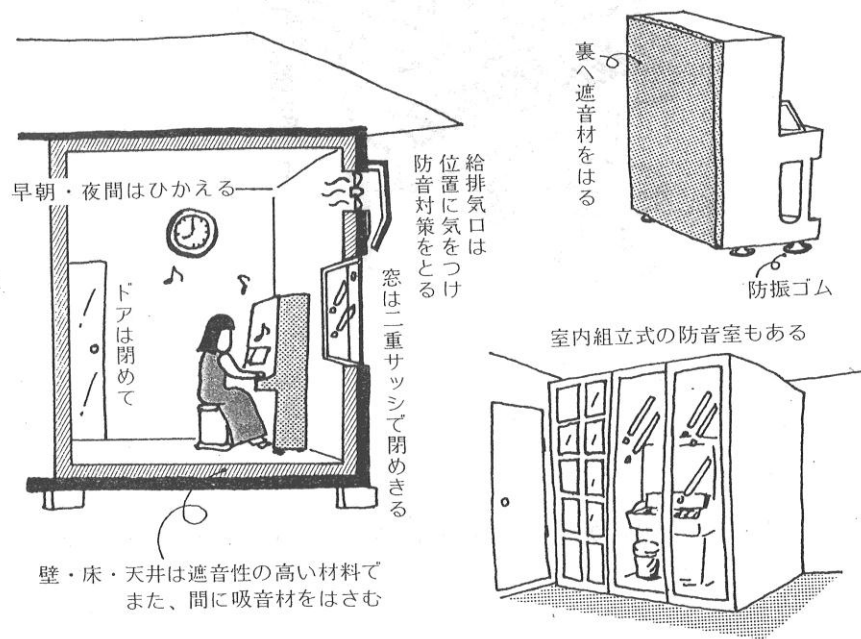
ピアノ防音についてのチェック事項と対策

ピアノをお持ちの皆さんへ

ピアノなどの楽器は、元々音が響くように製造してあります。防音室を設けず、楽器を弾くと、必ずご近所にも音は届いてしまいます。どんなに上手に弾いたとしても、迷惑だと思える人がいるものと認識してください。特に体調が悪い人にとっては苦痛に感じることもあります。このため、ピアノなどの楽器を演奏する場合にはご近所への格別の配慮が必要です。

また、音楽大学受験など、専門的に練習しようとする場合には防音室の設置は必須です。

ピアノを例に問題となりそうな点を挙げますので、チェックをしてみてください。



チェック事項	対策と留意点
建物全体	<ul style="list-style-type: none"> ・外へ出て、音がどこからもれているか調べる。
ピアノ	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣への影響の少ない位置におく。 ・ピアノの裏側に遮音材をあてる。 ・防振タイプのインシュレータ（足受け）などを使用し、床への伝はん音を防ぐ。
壁・床・天井	<ul style="list-style-type: none"> ・遮音性の高い材料で作る。 ・部屋の中へ組立式の防音室を作る。 ・隙間がある場合は埋める。 ・内側に厚手のカーテン、床にはじゅうたんを敷く。
窓・出入口	<ul style="list-style-type: none"> ・窓はアルミサッシ二重窓にするか、防音型の窓ガラスを使う。 ・出入口は防音型のドアにする。 ・窓や出入口は閉めてから弾く。
換気口等	<ul style="list-style-type: none"> ・換気口や冷暖房の配管口は音が漏れやすいので、位置に気をつけ、防音対策を採る。 ・換気扇は防音型のものを設置する。
近隣への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から近所づきあいを良くするよう心がけ、ピアノを弾く前に声をかける。弾く時間を約束しておくのも一策です。 ・早朝や夜間は弾かない。 ・弱音ペダルがある場合は、これを利用する。 ・集合住宅や近所に体の弱い人や子供、夜勤者などがある場合は特に注意する。 ・もし、苦情が出たら誠意をもって対応する。